

受験番号 ※

活動報告書

氏名 (佐野花子)

(1) 取り組んだ活動

① 学内での活動内容 ※ 「総合的な学習の時間」、部活動、生徒会活動等において取り組んだ課題研究等

活動期間(2018年4月 ~ 2020年10月)

私は〇〇高等学校家庭クラブに3年間所属し、2年生では代表委員、3年生では学校家庭クラブ副会長を務めました。3年生の時には、肢体不自由のAさんの車いす用のレインコートを作成する活動を行いました。それぞれのクラブ員の良さを生かして、力を合わせて、その方のためのオーダーメイドのレインコートを作成しました。完成までは大変な道のりで、悪戦苦闘しました。しかし、仲間の協力、先生方のご指導や家族の協力に支えられて完成させ、全国高校家庭クラブ研究発表大会で成果を発表することが出来ました。

② 学外での活動内容 ※ ボランティア活動、各種大会・コンクール、留学・海外経験等

活動期間(2020年8月6日 ~ 2020年8月7日)

私は富山県で行われた全国高等学校家庭クラブ研究発表大会に学校を代表して参加しました。そこで、学校家庭クラブ活動の部で「車いす用のレインコート作り」というテーマで、発表をしました。審査の結果、全国家庭科教育協会賞をいただきました。今までの努力が報われ、仲間と喜びを分かち合いました。

(2) 課題研究や目的を持った活動

① 課題テーマや目的 「車いす用のレインコート作り」

② 選んだ理由

〇〇市社会福祉協議会のボランティア・コーディネーターの方に相談したところ、肢体不自由のAさんの話を聴くことができました。車いすのAさんは「サッカーの試合を見に行ったところ、雨が降ってきて困った。仕方がないのでゴミ袋を被って雨をよけた。」と話してくれました。そのことを聞いて「Aさんのために、車いす用のレインコートを作ろう。」と仲間と話し合い決めました。

③ 概要・成果

始めに高校の被服の先生にどうしたら良いか相談し、市販の車いす用のレインコートを買って、それをAさんに着ていただき、そこから改善していきました。私は被服製作が好きなので、型紙を起こしビニールでAさんの体と車椅子に合うように試作品を作りました。それを着ていただき、Aさんに感想を聞きました。すると、車いすが運転しにくい等の問題に気付きました。色々な問題を改善するため、仲間とどうしたら良いか話し合い、4回試作品を作り直し、最後にレインコート専用の生地で縫いました。こうして、動きやすく、着やすいものを作りました。Aさんに完成品を渡したところ、Aさんに「これで安心して色々なところに行ける」と喜んでいただくことができました。

(3) 資格・検定・実績等

資格・検定・試験・実績等の名称	級・スコア等	取得等の年月
全国高等学校家庭科被服製作技術検定	1級	2019年11月16日
全国高等学校家庭クラブ研究発表大会	全国家庭科教育協会賞	2020年8月